

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成25年2月26日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	松永 一美
レジメン名	GDP(ホスアプレピタント)		
疾患名	非ホジキンリンパ腫	再発・難治性悪性リンパ腫で、他の治療が無効の場合のみ行う。	
適応分類	進行・再発	適応の備考	
1コース日数	21 日間	総コース数	6 コース
抗がん剤投与量・投与日		催吐性リスク	day1:高度、day8:軽度
抗がん剤投与量・投与日		gemシタピン1000mg/m <sup>2</sup> day1,8、デキサメタゾン40mg/body day1-4、シスプラチン75mg/m <sup>2</sup> day1	

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1	側管	生食250mL	1 本 / body		●																					
	点滴静注	ホスアプレピタント注150mg	1 本 / body	30 分	●																					
2	側管	ハロセトロン注ハック0.75mg	1 本 / body		●																					
	点滴静注	デキサート注6.6mg	5 本 / body	30 分	●																					
3	側管	生食50mL	1 本 / body			●	●	●																		
	点滴静注	デキサート注6.6mg	5 本 / body	30 分		●	●	●																		
4	側管	生食500mL	1 本 / body		●																					
	点滴静注	シスプラチン注	75 mg / m <sup>2</sup>	2 時間	●																					
		シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する																								
5	主ルート	グラニセトロン注ハック1mg/50mL	1 本 / body	30 分								●														
	点滴静注																									
6	側管	生食100mL	1 本 / body		●								●													
	点滴静注	ゲムシタピン注	1000 mg / m <sup>2</sup>	30 分	●								●													
		day8は主ルート																								
7	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分								●														
	点滴静注																									

【投与上の注意】

- 1日尿量測定を5日間行う。
- ホスアプレピタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ホスアプレピタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ホスアプレピタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- day8の軽度催吐性用の制吐剤は、デキサートではなくグラニセトロンを使用する。
- デキサート: デキサート33mgはデキサメタゾン40mgに相当する。
- デキサート: デカドロン錠の内服への変更も可能。
- シスプラチン: 希釈は生食のみ。
- シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。
- hydrationのため、day1-4に補液を投与する。